

白神自然環境研究所教授会議事要旨

日 時：平成29年3月28日（火）9時00分～10時12分
場 所：コラボ弘大8階 八甲田ホール（Cホール）
出席者：檜垣所長、石川副所長、殿内、本多、大高、中村、丹波、山岸
欠席者：東、松山、石田、荒井、上條（いずれも委任状提出）
事 務：小田桐、成田、肥後

議事に先立ち、所長から、2月28日開催の教授会議事要旨（案）の確認が行われ、承認された。

【審議事項】

1 平成29年度事業計画について

所長及び副所長から、資料1に基づき、平成29年度事業計画について、概略次のとおり提案説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

- (1) 取組内容は平成28年度と同様であるが、文京町キャンパス植相調査に動物を加えること、標本収集保管事業で自然情報室における標本活用を加えること、研究紀要については査読を十分に実施するため出版は翌年度とすることとしたい。
- (2) セミナー及び観察会の実施に当たり、兼任担当教員にもテーマ設定及び講師派遣等に協力願いたい。
- (3) 総合文化祭実施事業については、今後、継続する必要性及び自然情報室の活用を検討の上で実施を決定したい。

なお、配分される予算額により事業内容を見直す必要があるため、引き続き精査することが確認された。

2 附置研究所見直しに係る白神自然環境研究所の農学生命科学部への移行について

所長から、資料2に基づき、附置研究所見直しに係る白神自然環境研究所の農学生命科学部への移行について、ワーキンググループでの検討状況等の説明があり、概略次のとおり意見交換が行われた。

- (1) 白神自然環境研究所（素案）については4月のワーキンググループで検討結果をまとめ、理事（企画担当）及び学長戦略室と相談の上で検討を重ねる。その後、農学生命科学部教授会及び白神自然環境研究所教授会において審議し、学長へ答申する予定である。
- (2) 専任担当教員の任期制から任期なし雇用への転換、スペースの問題、予算規模の維持、学長裁量ポイントの取扱については慎重に進めてほしい。
- (3) 新研究科構想については、研究科長懇談会や文部科学省への事前相談の内容など、情報が錯綜している。

【報告事項】

1 所長報告

所長から、資料3に基づき、概略次のとおり報告があった。

(1) 企画戦略会議

- ① 理事（企画担当）から、平成29年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）が示された。
- ② 理事（企画担当）から、特定プロジェクト教育研究センター及び附置研究所見直しに係る検討状況について説明があった。
- ③ 副学長から、卓越大学院プログラムについて、スケジュール及び基本的な考え方の説明があった。

(2) 教育研究評議会

① 東日本大震災、熊本地震及び平成28年台風10号により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除に関する各取扱要項が承認された。

(3) 経営協議会・教育研究評議会合同会議

① 各理事及び部局長等から、今後の課題等について説明があり、経営協議会委員との意見交換があった。なお、本研究所については特段の意見はなかった。

(4) 全学情報システム運用委員会

① 弘前大学情報セキュリティ対策基本計画について承認された。

② 平成28年度情報セキュリティ監査の実施について承認された。

(5) 地域イノベーション学系会議

① クロスアポイントメント制度導入の提案について、具体的に検討を進めていくことが承認された。

2 平成29年度協力教員について

所長から、平成29年度協力教員について、今年度に引き続き原田幸雄氏、石田幸子氏、宮入一夫氏、齋藤宗勝氏の4名に依頼することの報告があった。

3 その他

(1) 兼任担当教員の転出について

所長から、今年度末をもって転出する兼任担当教員の紹介があり、当該教員から謝辞があった旨の報告があった。

(2) 副研究所長の指名について

所長から、研究所長の任期更新に伴い、引き続き石川専任担当教授を副研究所長として指名したことの報告があった。

(3) 事務系職員の人事異動について

社会連携課長から、事務系職員の人事異動内示について紹介があり、当該職員から構成員に対し謝辞が述べられた。

(4) 白神自然観察園について

専任担当教員から、砂子瀬・暗門間の県道から白神自然観察園へ入る道路及び教育研究棟前の除雪作業が終了し、車輛通行が可能となった旨の報告があった。

以 上

次回以降開催予定

平成29年4月28日（金）9時00分～10時15分

※平成29年5月は後日調整の上で決定する